

北海道NPO情報



NPO推進北海道会議
北海道NPOサポートセンター
北海道NPOバンク
NPOバンク事業組合
北海道NPO越智基金

発行 北海道情報宣伝研究会
 札幌市中央区北4条西12丁目
 1976年7月9日第3種郵便物認可
 定価 100円

【2005年9月号】

市民活動を支える制度を強化しよう！

もくじ	ページ
市民活動全道フォーラム10月2日	2~4
ボランティア養成講座/NPO法人会計講座	5
北海道自治体学会フォーラム10月1日	6
NPO支援財団シンポジウム10月8日	7
コミュサポ/コラム	8
研修日記/バンク情報/法人数	9
NPOサポート事業紹介	10
NPOな・・・(書籍・イベント紹介)	11
情報BOX(イベント案内)	12



団塊の世代にもピッタリ！「NPO入門セミナー」

- あなたに伝えたい“思い”があります -

NPOって何だろう？ 環境保全に興味があるけど・・・。高齢者介護に関心があるけど・・・。ボランティアに関心があるけど・・・。参加のきっかけがつかめなかった etc.

北海道NPOサポートセンターが、“はじめてのNPO”をご案内いたします。

道内各地から参加しやすい日程になっており、稚内・網走・根室・函館方面からも車中泊なしの1泊2日での参加が可能です。ぜひ、ご参加ください！

【日時】 9/17(土) 13:00~18:30 9/18(日) 10:00~16:15

【場所】 北海道NPOサポートセンター会議室 札幌市中央区南2条西10丁目クワガタビル2F
(地下鉄東西線「西11丁目駅」下車、【3番出口】から南へ徒歩約5分)

【参加費】 12,600円(消費税・資料代等込み) 当日直接お支払いください。

【定員】 10名程度(先着順) 【締切】 9/9(金)まで

【主催】 特定非営利活動法人 北海道NPOサポートセンター

【後援】 北海道、札幌市(申請中)

【申込方法】 氏名、年齢、連絡先(住所・電話・FAX・Eメール)

興味のある分野を、下記までFAXまたはEメールでお送り下さい。

【申込み・問合せ先】 北海道NPOサポートセンター TEL 011-271-5208 FAX.011-281-8807

Eメール npo@mb.infosnow.ne.jp (担当/山本・松本)

【日程概略】

- (9/17・土) 1時限目 講義「私とNPO」(仮)(講師：佐藤隆氏)
- 2時限目 アイスブレイキング(NPO基礎知識の習得)
- 3時限目 海外のNPO事情
- (9/18・日) 4時限目 N・POWER ツアープラス1(現地視察とNPO代表者との座談会)
- 5時限目 NPO法人と他の法人格との比較
- 6時限目 総まとめ

カリキュラムは変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

第5回 市民活動全道フォーラム 参加無料

とき 2005年10月2日(日) 10:00～15:30

ところ かでる2・7 (札幌市中央区北2条西7丁目)

主催 / 北海道立市民活動促進センター・NPO法人北海道NPOサポートセンター

北海道のNPO・NGO、市民活動実践者、企業や行政・自治体の担当者、NPO研究者が一堂に会するフォーラムが、今年も札幌で開催されます。これから市民活動を始めたい人、始めたばかりの人、ベテラン市民活動家、行政で働く人、企業人、NPO研究者、ジャーナリスト・・・みんなでワイワイガヤガヤ。当日は協働に関するテーマの講演会をはじめ、様々な分科会が行われるほか、パネル展示、情報交流なども。市民活動の今とこれからを知る絶好の機会です。どうぞご参加ください。

参加を希望される方は、4ページの申込書にて、事前にお申し込みください。先着順で定員になり次第閉め切らせていただきます。 参加申し込み締切り 9月22日(金)

(なお、分科会の会場、テーマ、講師等予告なく変更になる場合がありますのでご了承ください)

【問合せ先】北海道NPOサポートセンター 電話 011-204-6523 FAX011-261-6524

E-mail npo@mb.infosnow.ne.jp ホームページ <http://npo-hokkaido.org/>

基調講演 (4階 大会議室) 10:00～12:00

テーマ 「NPOと行政とのより深い協働をめざして
- 全国主要自治体の協働環境調査を通じて」

講師 川北秀人 (I I H O E 代表)

【プロフィール】 1964年・大阪生まれ。1987年に京都大学卒業後、(株)リクルートに入社し、国際採用や広報などを担当の後、1991年に退職。国会議員の政策担当スタッフや国際青少年交流NGO「オペレーション・ローリー・ジャパン」の代表などを務め、1994年にI I H O E設立。非営利組織(NPO)や社会責任志向の企業のマネジメント支援を行っている。

1995年以来、NPOのためのマネジメント関連講座を各地で開催しており、1999年からは年間100件以上担当。同年に隔月刊誌『NPOマネジメント』を創刊。(特)JEN共同代表理事、日本NPO学会理事、(特)せんだい・みやぎNPOセンター評議員、(財)日本自然保護協会評議員、(社)ガールスカウト日本連盟評議員、文部科学省学校マネジメントカリキュラム開発会議委員なども務める。



分科会 13:00～15:30

分科会	テーマ	受持団体名	内容
第1分科会 1030会議室 (10階)	協働のわからん・こま った引き受けます	NPO法人北海道NPO サポートセンター	協働を進める上での課題を参加者からフリップ・デ ィスカッションで出していただき、解決の糸口を川 北さんのコメントとともに探ります。
第2分科会 1050会議室 (10階)	ファシリテーション入 門～市民活動における 「促進」の役割とは～	NPO法人ねおす	会議や打合せ、他団体との協働、参加型のイベント など、市民活動を進める上でファシリテーション(促 進)は欠かせない役割です。今回はファシリテーシ ョンについて、事例や実習などにより一緒に学びた いと思います。
第3会議室 940会議室 (9階)	フェアトレードって? ～東ティモールコーヒ ーを通して～	フェアトレード研究会	東ティモールの農民を支援するために“公正な価格” でコーヒー豆を買うフェアトレード(FT)に関わっ てきた越田さんと、今年8月に実際に東ティモール を訪れた「これからや」の東さんと一緒にFTの理 論と実践を考えます。
第4分科会 810B会議室 (8階)	NGO・NPOの政策提 言～政策提言のための ネットワーク、仕組み づくり～	NPO法人さっぽろ自由 学校「遊」	北海道の政策(条例づくり、委託事業など)に、 NGO・NPOからの意見を反映させる方法を、参加 者のみなさんと考えたいと思います。

第5分科会 730会議室 (7階)	再発見！心を潤す遊びとおもちゃ	NPO法人北海道子育て支援ワーカーズ	おもちゃをセッティング、自由に観覧。ひとつのおもちゃからどんな遊びが展開できるかをワークショップで実践。遊び・おもちゃの奥深さを体感！「木の砂場」をゲーム形式で片付ける経験から、おもちゃの設定、遊び、収納を学ぶ。
第6分科会 720B会議室 (7階)	「共生・共存・共栄」 ともに生きよう・支えあって！分かちあって！	「21世紀・響育懇談会」、「北海道海浜美化を進める会」、「遠友夜会塾」、「世界連邦・北海道」	市民団体としての個性が、一般市民にどのように伝えられ、理解されていくのか。活動の実態から、「ともに生きる」ための方途を参加者一同で探る。シンポジウム形式で、フロアからの意見等も随時お聞きする。
第7分科会 大会議室 (4階)	「老いて一層豊かさが加わる暮らし」	NPO法人北海道たすけあいワーカーズ	NPO法人北海道総合福祉研究センター池田ひろみ事務局長による講演会「最後まで自分らしく暮らすために」介護に携わる者も利用する側も、みんな年を重ねることが楽しくなるお話です。
第8分科会 320会議室 (3階)	「これでいいのか 指定管理者制度」	NPO法人シニアマスターズネットワーク	直轄か民営か、今までどおりの管理者でよいのか。使用者、管理者を交え、指定管理者制度への取組状況なども報告しながら、道民の共益を生む公共施設運営のあり方について考える。
第9分科会 110会議室 (1階)	協賛企画 障害者福祉から考えるまちづくり研修会～まとめのフォーラム～	NPO法人さっぽろ介護NPO支援ネット	北広島市、石狩市、千歳市において、障害者福祉から考えるまちづくり研修会を開催し、その結果を受けて行なう「まとめのフォーラム」として参加します。課題共有と今後へ向けての提案を発表します。

交流広場 (5階 510会議室) 9:30～16:00

スキンカモフラージュサービスとセラ・ビューティック・ケア(英国赤十字社発)のコーナー

受持団体 / スキンカモフラージュサービス

皮膚の疾患や怪我の傷跡などを特別なクリームで簡単にカモフラージュできることを知ってもらい、SCSネットワークの活動が社会資源として広がるてがかりとなるキッカケを模索したい。カモフラージュメイクとセラ・ビューティック・ケア(マッサージ)の体験コーナー設置。

書籍等展示コーナー

飲み物コーナー

市民活動見本市 (1階 展示ホール) 9:30～16:00

全道のNPOパネル展

パネル展示ご希望の団体は、別刷りの「市民活動パネル展参加団体大募集」チラシをご覧になり、お申し込みください。

【申込先】北海道立市民活動促進センター E-mail oguras@fureaizaidan.or.jp
Tel 011-261-4440 Fax 011-251-6789 (担当:小椋)

相談コーナー

市民活動団体のボランティア募集と団体広報の方法について

受持団体 / NPO法人ボラナビ倶楽部

効果的なボランティア募集と団体広報の方法についての相談コーナー。ボランティア情報誌「月刊ボラナビ」のノウハウをもとに、告知先や、募集の文面のつくりかた、団体活動をいかにわかりやすく説明するか、といった点を相談者に助言する。(法律や金銭トラブルについては対象外)

NPO会計相談

受持団体 / NPO法人エーピーアイジャパン

NPO・NGO相談

受持団体 / さっぽろ自由学校「遊」(外務省NGO相談員)

福祉相談

受持団体 / NPO法人北海道たすけあいワーカーズ

市民活動相談

受持団体 / 北海道立市民活動促進センター

障がいのある方のパソコン活用を支援するボランティア養成講座

A 札幌市受託事業

日時 10月1日(土)・2日(日) 午前10時～午後5時
締め切り 9月16日(必着)
会場 札幌市西区二十四軒4条1丁目7 ポリテクセンター北海道
(JR琴似駅下車徒歩5分、地下鉄琴似駅下車徒歩8分)
受講料・定員 無料・20名

B 北海道受託事業

浦河町(9月3日、4日) 富良野市(9月24日、25日) 枝幸町(10月8日、9日)
倶知安町(10月15日、16日) 北広島町(10月22日、23日)
受講料 無料
定員 各会場20名(先着順)

C ITサポート基本セミナー

日時 9月17日(土)10:00-16:00、18日(日)10:00-16:00
会場: ポリテクセンター北海道
主催 NPO法人e-AT利用促進協会、NPO法人札幌チャレンジド、マイクロソフト株式会社
費用 基礎コース/17日1,000円(別途教材代1,000円)、実践コース/18日2,000円(当日払い)
定員 各コース先着40名
講師 畠山卓朗(星城大学リハビリテーション学部教授) 中邑賢龍(東京大学先端科学研究センター特任教授) 奥山俊博(東京大学先端科学研究センター研究員)

<申込み・問合せ先>(郵送・FAX・電話でお申込み下さい)

NPO法人札幌チャレンジド 〒065-0005 札幌市中央区北5条西6丁目札幌ビル8階
電話 011-219-1810 FAX 011-219-1811 e-mail: challenged@s-challenged.jp

NPO法人会計講座開講のお知らせ

～短期集中5回講座 10月7日開講～

毎回ご好評いただいている会計講座のご案内です。簿記の基礎を学び、NPOならではの勘定科目を使った仕訳(振替伝票記入)等の練習問題をやってみます。講習時に使用する会計ソフトは「会計王5 NPO Limited」です。ソフトの扱い方を中心にパソコン入力もたくさん練習します。最終的には決算書を作成し、財務諸表の見方などを学びます。

今回は講習中に、個別質問に対応する時間を用意して、それぞれの団体の事情に合わせたアドバイスができるようカリキュラムを組んでいます。ご参加ください。

日時/第1回 10月7日(金) 18:00～20:00 第2回 10月8日(土) 14:00～16:00
第3回 10月14日(金) 18:00～20:00 第4回 10月15日(土) 14:00～16:00
第5回 10月21日(金) 18:00～20:00

場所/北海道NPOサポートセンター会議室(札幌市中央区南2条西10丁目 クワガタビル2階)

講師/小沼千佳子(北海道NPOサポートセンター会計担当)

定員/10名程度(最少催行人員3名)

受講料/10,500円(税込み、初回納入)

締切り/10月5日(水)先着順。(定員になり次第締め切ります。)

参加対象者/パソコンの文字入力できる方

問合せ・申込み/TEL 011-204-6523 FAX 011-261-6524

Eメール npo@mb.infosnow.ne.jp(担当 小沼・神)

主催/NPO法人北海道NPOサポートセンター

10月1日(土) 2005年度北海道自治体学会フォーラム in 札幌のご案内**「役所まかせでいいのか? ~地域の課題に取り組む自治のあり方~」**

行政だけに「公共」をまかせていいのでしょうか。様々な地域課題を抱えている今日、私たちのまちをより良くしていくために市民も自治体職員も「市民」としての力量が問われています。そこでこのフォーラムでは、地域課題を題材にしたワークショップを通じて市民と行政がそれぞれの役割を担いながら、様々な課題にどう取り組んでいけばいいのかその糸口を探ります。札幌市の事例を中心にしていますが、ここでの課題や提案は道内各自治体に共通しているものがきっとあるはずです。共に学び、知恵を出し合ひましょう。

日時 2005年10月1日(土) 10:30~17:00

場所 北海道クリスチャンセンター(札幌市北区北7条西6丁目)

スケジュール 10:00 受付開始
 10:30 札幌市長挨拶
 10:40 開会挨拶
 10:45 オリエンテーション及び問題提起
 11:00~15:30 ワークショップ テーマは、別紙を参照してください。
 (昼食 12:00~13:00)
 16:00~17:00 全体会議(各テーマからの報告・共有)
 17:30~ 交流会

参加費 フォーラム参加費(一般)1,000円(学生)500円
 交流会参加費2,000円(希望者のみ)
 昼食(弁当代)600円(希望者のみ) いずれも税込み料金です

参加申込 参加希望の方は、申込用紙に必要事項を記入の上、9月15日(木)までに、FAX、郵送またはメールでお申し込みください。

送付先 〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目札幌ビル8F 北海道NPOサポートセンター内
 北海道自治体学会事務局宛 FAX 011-261-1921 E-mail jichigakhok@yahoo.co.jp

お問い合わせ 上記送付先にFAX又はメールでご照会ください。

主催/北海道自治体学会フォーラム in 札幌 実行委員会、北海道自治体学会

後援/北海道、北海道市長会、北海道町村会、札幌市、北海道NPOサポートセンター、NPO推進北海道会議

後援依頼予定/マスコミ各社

<ワークショップのテーマ>**有機な暮らしをみんなで作る方法 ~生ゴミの堆肥化から考える~**

資源循環社会をめざして、これまでの使い捨て社会を見直し、有機な暮らしをみんなで作りたい。札幌市では、市民・農家・行政が力を合わせて、生ゴミから堆肥を作り、それを使って農産物を作ろうという取り組みがようやくスタートしました。この輪を大きく広げましょう!

まちづくりセンターを革新の拠点へ ~私たちの自治を考える~

人口2万人程度に一カ所ある札幌市の「まちづくりセンター」。その役割を検証し、連合町内会をはじめとする既存の地域団体、NPOなどの市民活動団体・ボランティア団体との連携を模索し、市民自治の実現について議論します。話題提供者/大石昇司澄川連合会会長、佐藤克廣北海学園大学法学部教授、長谷部英司札幌市地域振興課長、川北秀人I I H O E[人と組織と地球のための国際研究所]代表

市民提案公共事業でまちを元気に! ~300万円で考えるまちづくり事業~

行政が実施する事業のほとんどは、役所が立案・決定してきましたが、もっと市民が関わってもよいのではないのでしょうか。このワークショップでは、寄せられた提案を素材に、市民提案型事業の進め方、あり方をみんなで考えます。このワークショップでは、事業企画案を募集します。あなたの提案を、フォーラム当日お持ちください。

なぜ アライグマは野生化したのか? ~市民は? 行政は? 専門家は? ~

北海道で全国に先駆けて対策を講じてきたアライグマを事例として取り上げ、法律の不備や現在の取組の問題点を考え、私たち市民の役割や今後の取組への参画について話し合います。

申込フォーム 氏名 連絡先住所、電話、FAX、e-mail 所属先(職場、学校など。)と参加ワークショップ(~)を明記してください。 FAX 011-261-1921

10月8日(土)

助成金情報をゲットしよう

NPO 支援財団研究会・平成17年度シンポジウム(札幌)

～地域社会の活性化と助成財団の役割～

主催 NPO支援財団研究会 共催 特定非営利活動法人NPO推進北海道会議
 日時 2005年10月8日(土) 13:30～18:30
 場所 北海道クリスチャンセンター2階ホール(札幌市北区北7条西6丁目)

参加定員 100名(先着順定員になり次第締め切り) 参加費 1,000円(名刺交換交流会費込み)
 参加申込 参加申し込みフォームを参考に必要事項をご記入の上、下記までファックスください。
 北海道NPOサポートセンター TEL: 011-204-6523 FAX: 011-261-6524
 ホームページ上やメールでのお申込みも出来ます。
 URL <http://npo-hokkaido.org/> E-mail npo@mb.infosnow.ne.jp

プログラム 13:30	開会・挨拶 国松秀樹(キリン福祉財団・常務理事)
13:35	ビデオ上映「新しい社会の創造を目指して」
14:05	プレゼンテーション 樽見弘紀(北海学園大学教授)「NPOが北海道を変えた(仮)」
14:55	(休憩)
15:05	パネル・ディスカッション「地域社会の活性化と助成財団の役割」
	パネリスト 田口 晃 (NPO推進北海道会議代表理事, 北海学園大学教授)
	秋山孝二 (秋山記念生命科学振興財団理事長)
	渡辺三省 (札幌市地域振興部市民活動促進担当課長)
	大島寿美子 (北星学園大学助教授)
	石崎 登 (三菱財団・常務理事)
	コーディネーター 森田麻美子 (NPO法人ボラナビ倶楽部代表理事)
17:00	閉会
17:10	名刺交換・交流会(道内の助成財団にも参加要請します)
18:30	閉会

<シンポジウム開催の趣旨>

「地域社会」という私達が日々暮らしている、いのちと暮らしを支える基本的な生活の場において、空洞化や荒廃化が進んでいます。

しかし、「地域社会」には、暗いニュースばかりではなく、明るいニュースもあると思います。そこには、周りの人々を元気にするパワーと強力なリーダーシップを兼ねそなえた人材がいるかもしれません。また、身近にある資源もしくは人的ネットワークを活用して、つまり「創意工夫」によって困難を打破しようという熱い思いがあるかもしれません。「自らが生き、生かされてきた、そしてこれからも生き続けたい」生活の場を何とかしたい、という強い願いも存在しているでしょう。

その結果として、地域においては「自然との共生を目指す」「魅力がある、誇りを持てる」、「個々人の参加によって支えられる」、「人と人のつながりのある、垣根のない」等の社会づくりを目的とした活動ができています。

そのため、私ども「NPO支援財団研究会」では、「地域社会の活性化」に向けての、地域に暮らす人々が自ら主体となった地域社会活性化の取り組みを応援したいと思います。

「NPO支援財団研究会」のメンバーである財団が運営している助成プログラムの多くは、「助成先は日本全国」としていながら、応募申請や助成先の多くが「大都市圏に偏って」いるのが現状です。これは、私どもの活動が地域で活躍されている皆様に、よく伝わっていないからだと思います。

このたび秋田・札幌・長野と日本各地に出向き、地域社会が直面している問題について現地の生の声を聞き、地域社会で活動している団体との交流を深める機会をつくりたいと考えました。札幌においては、地元の活動団体と密接な関係にある「NPO推進北海道会議」との共催で当シンポジウムを企画することができました。この機会に、北海道の皆様は助成財団の活動、助成プログラムを知っていただき、身近な存在として受け止めていただければと思います。

そして、「地域社会の活性化」のために共に行動をおこせればと思います。



今年もやっています！コミュサポ事業

昨年度札幌広域圏（石狩支庁管内）8市町村で地域サポーター団体13団体とホームページ作成希望の110団体が参加して、コミュサポ事業を展開してきました。今年度は、新たに昨年参加した団体が新しい団体のサポートに廻るという枠組みで取り組みます。地域のまちづくりを目標に、無料のホームページ作成ソフト「WEB Maker」をツールとして札幌広域圏組合の「コミュサポ」サーバーに市民活動団体100団体のホームページをアップする予定です。

札幌広域圏管内（札幌、石狩、当別、厚田、浜益、新篠津、江別、北広島、恵庭、千歳の10市町村に所在する市民活動団体対象）の市民活動団体のみなさまへ。

地域で活動するボランティア、市民活動グループ、NPOなどの皆さん、自分たちの活動をホームページで紹介してみませんか？「でも、詳しい知識がないからなあ…」そんな心配はいりません。札幌広域圏組合の「コミュサポ」が、皆さんのホームページ運営を応援します。

▶ **募集・利用料** 募集团体数:100団体 **利用料:無料**

▶ **参加申込** 「参加団体登録申請書」を参加団体の住所がある各市町村の担当窓口へ、直接持参、FAXのいずれかの方法で提出してください。

「参加団体登録申請書」は各市町村の担当窓口で配布しています。また、北海道NPOサポートセンターホームページからダウンロードすることもできます。各市町村の提出窓口は、札幌広域圏組合事務局までお問い合わせください。

受付期間：2005年5月10日より--100団体になるまで！！

札幌広域圏組合 〒060-0001 札幌市中央区北1条西1丁目明治安田生命札幌北一条西ビル3階

TEL：011-290-1313 FAX：011-290-1311

サポセンスタッフの落書きのコラム 松本 公洋

果て～しい～ない～大空と一、広～い大地の～その～中で～・・・と、鼻歌を歌ったかどうかは別にして、先日、道東の北見と池田を結ぶ池北高原鉄道「ふるさと銀河線」に乗ってきました。旧国鉄池北線時代以来19年ぶり。ご存知の方も多いと思いますが、同線は来春廃止が決定されているので、もう一度、夏の景色のうちに乗りたいたいなと思っていました。

久しぶりに“窓の開く”列車に揺られ、深い緑、青い空と白い雲、そして、時々車内に入ってくる木工場の木の香りと虫の声・・・目・耳・鼻、そして心で自然を満喫した感じでした。

途中、沿線の置戸、陸別、足寄の3町で下車し、約2時間ずつ散策してきました。どの町も「駅」と「道の駅」が併設された施設を中心にきれいな町並みが形成されているのですが、やはり過疎化は進行しているようでした。

沿線の利用客だけでは存続は無理でしょうが、旭川の“旭山動物園”クラスの集客施設があれば、沿線外からの利用客も増えるのになぁと思ったり、“癒し”をキーワードに、北海道の自然を楽しめる140キロの細長い走る観光・保養施設として存続できないものかなあ～とあれやこれやと考えてしまいました。温泉付車両をつなげて、これぞまさしく「レールバス」なんて、山田君に座布団持っていかれそうですが・・・。（知恵を絞るのに金はかからん）

なくなってしまう寂しさ故の単なる感情論ではなく、果たして廃止が知恵を絞るだけ絞り、議論しつくした結果だったのかなあと思うのですよ。旭山動物園だって、不便な場所にある上に、苦境に立たされた時期があったにもかかわらず、アイデアによって再生され、いまや全国区。

そして、先日の高校野球はもうご存知の通り、駒大苫小牧高校の夏の連覇。もう本当に感涙でしたが、昨年、駒苫が優勝するまでは、見ている方も“北海道代表は甲子園で1回でも勝てればいいべさー”みたいな、どっか負けて当然みたいな雰囲気がありました。「北海道は冬が長いから仕方ないっしょ～」みたいな。

勝手な意見ですが、北海道人は北海道人気質というのか（自分だけ！？）、何かやろうとすると、かつての高校野球を見ていたときのように、あらゆる面においてどっかあきらめていることが多かった気がします。「どうせやってもダメだべえー」、「そん～なの無理っしょ！」etc.

銀河線ばかりではなく、あらゆる側面で苦しい北海道ですが、知恵を絞り出すことでまだまだ道は開けるはずなんです。きっと。

9月11日は衆議院議員選挙投票日！投票に行こう！！

シーズ[市民活動を支える制度をつくる会]の運営するWEBサイト「NPOWEB」ニュースヘッドラインに以下の見出しがあった。「8月19日:民主党、政権公約で「市民活動支援」/8月22日:社民、公約で被災者支援税制/8月23日:自民、NPO税制の抜本検討を公約/8月25日:公明、ODA5%のNGO還元を公約/8月29日:共産党、NPO支援を公約」。9月11日投票日の「総選挙」NPO活動に対する各党の政策を是非投票判断に加えていただきたい。（小林）
【NPOWEB <http://www.npoweb.jp/>】

NPO研修日記

2005年度 その5



谷口 直子

「言葉のチカラ」

8月20日(土)から21日(日)にかけて、石狩浜で行われたライジングサンロックフェスティバル(以下「RSR」)に、「ごみゼロナビゲーション(以下「ごみゼロ」)のボランティアとして参加しました。20日8:00麻生集合、21日15:00麻生解散、睡眠時間は2時間×2回。21日は雨にも降られ、正直言って、なかなかハードな2日間でしたが、参加してよかったです。

「ごみゼロ」の目的は、ごみ拾いという対症療法的な活動ではなく、RSRなどのイベントの参加者が自立した個人として自分のことは自分でできるようにナビゲートしていくこと、そして長期的には、社会の中のさまざまな問題が解決しやすい「参加型社会」を築いていくことです。

私自身、今回の活動を通じて、たとえば、なぜこれは燃やすごみに分類するのかということや、日常生活で燃やすごみとされているものの中に、実はリサイクルできるものもあるのだということ、ちょっとだけ知ることができました。

ごみゼロを体験した2日間の中で、心に残った言葉や出来事を思いつくままあげてみます。

史上最強の13分別 会場で来場者に配布するキャンペーンバッグは、去年のRSRで回収されたペットボトルを再利用して作成 普通のティッシュはリサイクルできるが、ウェットティッシュはリサイクルできないので、燃やすしかない(=燃やすごみ) 日本国内で1年間に使われる割り箸の量は、家を2万件建てることのできる木材の量と同じ まだ使える雨具や長靴、ビニールシート、寝袋、焼肉セット、サンダル、洋服、炭などがたくさん捨てられる現実 駒大苫小牧、夏の甲子園2連覇!(試合、観たかった~) 来場者からの「おつかれさまです」のひとつ 伝言版に書かれた、ごみゼロの活動への感謝と激励の言葉

・・・実は、雨の中の作業中、伝言版の言葉を目にしたとき、ちょっぴり泣きました。ボランティアは感謝されることを目的にするものではないと思うけれど、こういう言葉はなににもましてうれしいものだな、と感じました。

NPOバンク融資申込みのお知らせ

第13回融資申込期間(予定)10月18日から11月2日まで/融資実行12月中旬
融資申込みに際して必要な書類は下記URLから取り出せます。

NPOバンクに対する問い合わせ先・資料請求先

〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目クワガタビル2F
北海道NPOサポートセンター内 TEL:011-204-6523 FAX:011-261-6524
npobank@npo-hokkaido.org http://npo-hokkaido.org/bank_hp/index.htm

特定非営利活動促進法に基づく申請受理数および認証数、不認証数等

内閣府ホームページから <http://www5.cao.go.jp/seikatsu/npo/data/pref.html>

全国の申請受理数「内閣府・北海道含む」 6月30日現在 (内閣府のホームページ)	受理数	認証数	不認証数	解散数
	23911	22424	150	439
道内の申請受理数 7月31日現在 (北海道)	受理数	認証数	不認証数	解散数
	905	849	0	20

北海道内のNPO認証状況は道庁HP <http://www.pref.hokkaido.jp/kseikatu/ks-bssbk/npo.index.htm>

北海道NPOサポートセンターの「サポート事業」一覧

(単位:円,税込)

北海道NPOサポートセンター会員に対するサービス事業です。

詳細については個別にご相談に応じますのでお気軽にお問い合わせ下さい。電話011-271-5208

2004.7.1 改定

サポートの内容	詳細	規格・単位	基本料金
NPO法人申請手続 相談・書類作成等アドバイス(初回相談無料) 法人申請は時間がかかります。(4ヶ月~6ヶ月)		基本料金	21,000~
NPO 法人代表印	登記に必要な法人代表者印鑑です(送料別)	1本	11,000
身分証明書作成	ラミネートを使った身分証明書を作成します。	1枚	210
印刷(予約制) 黒インク印刷のみ (カラー印刷、製本等は 良心的な印刷所を紹介)	簡易印刷機(リソグラフ)で印刷します。 基本料金は製版1枚、紙代込みの場合です。 (厚紙や色紙は少し高くなります。 ご相談ください) A3まで印刷可、10枚以上~(両面は片面の倍)	片面 B5 1,000枚	2,738
		片面 A4 1,000枚	2,738
		片面 B4 1,000枚	3,438
		片面 A3 1,000枚	4,838
名刺作成	パソコンで名刺を印刷します。(100枚単位) 片面初版代:315円、 両面初版代:525円が別途かかります。	片面 カラー	1,470
		片面 白黒	1,050
		両面 カラー	2,310
		両面 白黒	1,890
横断幕・ポスター	パソコンで長尺紙(幅42cm)に印刷します。	片面のみ	1,575~
シール	NPOのロゴマークシール 1シート	大5枚、小10枚 各	210
エプロン	ロゴマーク、事業所名を入れてエプロンを作ります。	5枚以上 1枚	4,515
日常会計業務支援	パソコンで、伝票入力から決算書作成まで実施	基本料金(1仕訳)	63~
介護保険・支援費指定事業所 申請事務サポート	指定事業所になるための支庁・市役所提出書類作成、 提出までのサポートを行います。	介護保険 1事業所	10,500~
		支援費 1事業所	7,350~
介護保険料請求事務	伝送による介護保険請求をします。	1事業所	2,625~

上記の表以外に、不動産売買・賃貸、税務申告、登記書類作成、損害保険、FP関係について、NPOサポート専門家会議メンバー等による相談を随時受け付けております。(NPOサポセンスタッフが聞きし専門家にお伝えします) 法人認証申請書類、登記書類、会計書類、税務申告、介護保険申請等は、必要に応じてNPOサポート専門家会議メンバーの専門家のアドバイスをいただいています。NPOサポート専門家会議は、弁護士、司法書士、社会保険労務士、行政書士、公認会計士、税理士、損害保険専門家、不動産鑑定士、不動産専門家、建築士、社会福祉士、FPなどの専門家が参加しています。

NPO推進北海道会議 / 北海道NPOサポートセンター / NPOバンク / NPO越智基金

〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目クワガタビル2階 IP 050-7541-4799

電話番号011-204-6523, 011-242-4333 FAX番号 011-261-6524

通常業務時間10:00~18:00(土、日、祝日は休む時があります)

北海道NPOサポートセンター相談センター・研修室 / NPO推進北海道会議分室

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目札幌ビル8階

電話番号 011-271-5208, FAX番号 011-281-8807

通常業務時間10:00~18:00(月~土)(日、祝日休み) IP電話 050-7543-3291

引越し・旅行・車検のことなら「**札幌**」は**こび愛ネット**」をご利用ください!ご存知かもしれませんが、飛んで!車いすの会をはじめ札幌チャレンジドなど10団体ほどが参加しているもので、札幌さんの商品を利用して、「NPOサポセンに還元して!」と言うと商品代金の5%が還元される仕組みです。**どうやって利用するの?**申し込みはとても簡単。下記の「**こび愛ネット**」推進事務局にお電話ください。インターネットからの申し込みもできます。利用サービスは、引越し、旅行(札幌トラベル)、車検・自動車修理(札幌自工)と文房具(札幌商事)などの購入です(一部対象外あり)。ぜひご利用ください。

問い合わせ・申し込みは 札幌「**こび愛ネット**」推進事務局

TEL(011)251-4111内線250番 FAX(011)231-7063

書籍案内

『NPOの参考書』

NPO法人向け諸届け出ガイドブック
事務所に1冊必携のマニュアルです。

- ・ 設立登記（法務局）
- ・ 登記完了届（道庁）
- ・ 変更登記（法務局）
- ・ 事業報告書等の提出（道庁）
- ・ 任期満了に伴う役員の変更（法務局と道庁）
- ・ 任期途中の役員の変更（法務局と道庁）
- ・ 事務所移転（法務局と道庁）
- ・ 定款の変更（法務局と道庁）

諸届ひな型のCD付き

定価 2,100円（税込）

2005年5月28日発行

【問合せ】

北海道NPOサポートセンター
TEL 011-204-6523
FAX 011-261-6524
E-mail npo@mb.infosnow.ne.jp



講座案内 手稲さと川探検隊 川の生きもの調べ③

手稲山から流れる川で、どんな場所にどんな生き物があるか、川に入って調べてみます。昨年は、中の川や星置川で、網などで探したり、北海道工業大学の研究者に投網や電気ショッカーでの調査を見せてもらいました。今年は3回の予定で、北海道工業大学などと協力して、魚やその他の生きものを調べています。また、札幌市環境対策課の協力で、水質なども簡易測定しています。

【日時】 9月11日（日） 10:00～12:00

【場所】 中の川、星置川 集合は、下手稲通り
共栄橋の堤防下（新発寒5条8丁目）

【対象】 小学生以上（小学生は保護者同伴）

【定員】 15名 [参加費] 300円（保険代 200円含）[案内人] 北海道工業大学環境デザイン学科大塚武 [服装] サングル、スニーカーなど（直接川に入ります）

【持ち物】 川でころんだ時のための「着替え」、はき替え用の靴、防寒着、(昼食)生きものをつかまえる道具も可

【申し込み方法】 Eメール、FAX、電話、ホームページからも申込みできます。

【申し込み期限】 9月8日（木）18時

【申し込み・問い合わせ先、主催】 手稲さと川探検隊
TEL.090-1305-7473（鈴木）

FAX 011-684-4487

E-mail : aasuzuki@pop11.odn.ne.jp



NPOな...

書籍案内

札幌市介護保険・福祉サービス
事業所ガイドブック

好評発売中!

2004年12月発行

札幌市内の介護保険・福祉サービス事業所1,457箇所及び札幌市内にサービス提供する市外事業所（名称、住所等の基本情報のみ）、札幌市在宅介護支援センターの情報を掲載しています。サービス提供地域・時間、人員体制、利用料、系列サービスなどの情報が満載！です。

介護保険事業所は在宅・施設サービス、対象外事業所は在宅系のホームヘルプ、理美容、配食、ミニデイ、移送、施設系の養護老人ホームなど各事業所（今年から生活支援ハウスも掲載）を網羅。

区別・サービス別・法人別、3種類の索引で探しやすいです。

■価格：2,000円（税込み）
A4判（470ページ）送料別途

【問合せ】北海道NPOサポートセンター

TEL 011-204-6523 FAX 011-261-6524

E-mail npo@mb.infosnow.ne.jp



ガイドブック紹介

改訂版

さっぽろNPOのほん

札幌市内のNPO法人網羅!

北海道認証分376団体、内閣府認証分73団体の法人名・住所・連絡先電話・FAXの一覧です。

定価 500円（税込み）

2005年4月発行

発行 北海道NPOサポートセンター

【問合せ】

北海道NPOサポートセンター

TEL 011-204-6523

FAX 011-261-6524

E-mail

npo@mb.infosnow.ne.jp



情報BOX

GISセミナー「GISのさらなる飛躍に向けて」

開催日：2005年 9月20日

イベント内容：GIS(地理情報システム)は、新たな公共サービスの充実、地域の自立的発展の促進など、地域の情報化を推進する上で、有効活用されることが期待されています。本セミナーでは、国におけるGISの取り組みを紹介するとともに、GISを用いた地域における情報化やGISの新たな活用方法についての講演・事例紹介、意見交換を主とした討論会等を予定しています。

GISの多様な使い方(参加型ポータルサイトの有用性、市民・関係団体等との協働のあり方等)について、一緒に考えるきっかけになると思います。GISに興味のある方等、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日時：9月20日(火) 10:30~16:30

会場：札幌全日空ホテル3階「鳳の間」

主催：総務省(情報通信政策局・統計局)

国土交通省(国土計画局・国土地理院)

講師：清水 英範氏(東京大学大学院工学系研究科教授)

山村 悦夫氏(北海道大学名誉教授、GIS学会会長)

飯島 昭憲氏

(岐阜県知事公室情報政策課GISチームリーダー)

平山 元英氏

(eコミュニティふじさわ推進委員会委員長)他

受講料：無料

申込方法：参加ご希望の方は、下記セミナー事務局宛

9月14日(水)までにFAXまたはメールで。

セミナー事務局：

財団法人日本総合研究所特別研究本部(担当：清水、斎藤)

電話：03-5275-1570 FAX：03-5275-1569

メール：research@jri.or.jp

第3回外国人医療を考えるフォーラム

医療現場におけることばのコミュニケーション

北海道における外国人医療の状況をご存知ですか？

外国人が医療機関において困ること、そして医療従事者が困ることがたくさんあります。一番大切なのは外国人と医療従事者の意思疎通、そのツールである言語の問題です。ではどうしたらそのギャップを埋めることができるのでしょうか？全国ではどう対処しているのでしょうか？医療通訳派遣システムがスタートした地域もあります。エスニコでも医療通訳の学習をスタートし、通訳派遣もしています。でもそれだけでは解決できない問題が山積みです。

4年間外国人医療と異文化交流を重ねてきたエスニコが、全国で外国人医療に尽力されている素晴らしいゲストをお招きし、「言葉のコミュニケーション」をテーマにフォーラムを開催します。皆さんと共に考えてください。ご参加心からお待ちしています。

主催：NPO法人エスニコ

開催日：2005年11月2日(水)~3日(木)

場所：札幌市北区北8条西3丁目エルプラザ

参加費

第1日目 一般\1,500 学生\1,000(資料代込み)

第2日目 一般\1,800 学生\1,200(資料代込み)

2日通し券 一般\3,000 学生\2,000(資料代込み)

2日目昼食は別料金：¥800(飲み物込み)

フォーラムプログラム予定

第1日目11月2日(水) 場所：エルプラザ3階ホール

18:30 開場 18:45 開演 主催者挨拶

北海道における外国人医療の実情：エスニコの活動から
19:00 パネルディスカッション

「医療現場における言葉のコミュニケーション」

パネリスト：村木茂弘さん：(株)KDDI 総研主幹研究員

高嶋愛里さん：多文化共生センターきょうと医療通訳チーフ

コーディネーター、看護師、保健師

村松紀子さん：財)兵庫県国際交流協会外国人県民インフ

ォメーションセンター相談員スペイン語担当、医療通訳研

究会代表

コーディネーター：芦田科子：(特活)エスニコ代表理事

21:00 終了

第2日目11月3日(木) 場所：エルプラザ4階大研修室

9:45 開場

10:00 多文化に挑む全国の医療機関：村木茂弘さん

行政相談窓口から見た外国人医療：村松紀子さん

11:50 昼食

12:30 講師にインタビューコーナー：

押味貴之さん：医師、日本英語医療通訳協会理事、米国

CCHCP 公認医療通訳トレーナー

13:15 医療通訳コーディネーターのお話と

ワークショップ：高嶋愛里さん

15:00 ディスカッション

16:00 終了

NPO法人 NPO推進北海道会議

代表理事 田口 晃 (北海学園大学教授)

杉岡 直人 (北星学園大学教授)

杉山さかえ (北海道グリーンファンド 理事長)

事務局長 佐藤 隆

NPO法人 北海道NPOサポートセンター

理事長 杉山さかえ 事務局長 小林董信

NPO法人 北海道NPOバンク

理事長 杉岡 直人

NPOバンク事業組合 理事長 高木 晴光

NPO法人 北海道NPO越智基金

代表理事 田口 晃 事務局長 北村美恵子

〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目

クワガタビル2F

TEL(011)204-6523 FAX(011)261-6524

E-mail npo@mb.infosnow.ne.jp

URL <http://npo-hokkaido.org/>

相談センター/研修室

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目

札幌ビル8階 電話011-271-5208

FAX011-281-8807